

2026年度 ボランティアプログラム（スポーツ①）

7月13日（月曜日） 16:20～ 於：南大沢キャンパス7号館スタジオ101

今回は「ゴールボール体験」を実施しました。
競技ルールの把握やコート設営に取り組み、競技体験を行いました。
今後、スポーツ体験教室等の運営時に備え、正規のルールを照らし合わせつつ
来場者の方が取り組みやすい・わかりやすいルールにするには
どのように柔軟性を持たせるか、を考える機会にもなりました。
当日の様子を、学生の感想とあわせて写真で振り返ります。



コートの設営は人数がいてもそれなりに大変だと感じた。ゴールボールは視覚情報が何もないので、触覚や聴覚の情報がとても大事だった。また、審判をやる際の状況説明/声掛けの必要性も感じた。

協力しながらコートの準備等をする中で、メンバー同士の交流が深まったと思う。また、実際にゴールボールを体験したことで、ゲームの進行状況が想像以上に分かりにくいという難しさを肌で感じることができた。コート外から適切な声掛けを行うことの重要性を実感した。ここで得た視点は、これから視覚障害のある方と接する上で、非常に役立つと思う。

見えていない状態は特に子供たちにとっては危険であり不安であるだろうと感じた。進行上、何が起きているかなどを声で説明するのが良いのではないかなと思う。



目が見えない状況では、状況把握の助けとなる案内や声掛けの重要になってくると痛感しました。目が見えている状態の人が状況をしっかりと説明してあげることで、みんなが楽しめるゴールボールに繋がるのではないかなと感じました。

ゴールボールの楽しさ、難しさ、また協力して設営や片付けをすることの楽しさ、難しさを身をもって知ることができた。